

<p>I. 聖書には、神と人との関係に関して奥義的な思想があります: 創 1:26 それから、神は言われた、「われわれのかたちに、われわれの姿にしたがって、人を造ろう。そして彼らに、海の魚と空の鳥と家畜と全地と地を這うすべての這うものを治めさせよう」。</p>	<p>A. 聖書は、神と人がかたちと姿において類似していることを啓示しています。</p> <p>B. 人は、人自身の種類にしたがって創造されたのではありません。神は、神の種類にしたがって人を創造しました。</p> <p>C. 神は人と成って、神・人の種類を生み出しました。私たちはキリストにある信者として、神・人の種類、神・人たちです。 ヨハネ 12:24 まことに、まことに、私はあなたがたに言う。一粒の麦が地に落ちて死ななければ、それは一粒のままである。しかし、それが死んだなら、多くの実を結ぶ。</p> <p>D. 神の願いは、人であるのと同じになって、人を彼であるのと同じにすることです:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 神の目的は、彼ご自身をキリストの中で私たちの中へと造り込んで、彼ご自身を私たちであるのと同じにし、私たちが彼であるのと同じにすることです。 2. 神のエコノミーは、彼ご自身を人と成らせ、また私たちが、すなわち、彼が創造した人を神とならせることです。このように、彼は「人化された」神であり、私たちは「神化された」人です。 	
<p>II. エゼキエル書第1章26節の御座の上の方は、人の外観を持っています:<u>エゼキエル 1:26</u> また、彼らの頭の上にある大空の上に御座のようなものがあり、サファイア石の外観のようであった。そして御座のようなものの上に、人のような外観の方がその上におられた。</p>	<p>A. 御座に座している方は、神であるだけではなく人でもあります。彼は、神・人であり、人・神であり、神と人とのミングリングです。</p> <p>B. 御座に座している方が人の外観を持っているという事実には、二重の意義があります:</p>	<p>1. エゼキエル書第1章26節と創世記第1章26節には、関係があります:</p> <ol style="list-style-type: none"> a. 神は、彼のかたちにおいて彼を表現し、彼の権威をもって彼を代行する人を創造しました。このことは、彼の定められた御旨にしたがっていました。 b. 神が彼のかたちと彼の姿にしたがって人を創造した目的は、人が神を命として受け入れて、神を表現することでした。 創2:9 エホバ・神はその土地から、見て喜ばしく、食べるのに良い、すべての木を生えさせ、さらに園の中央に命の木と、善悪知識の木とを生えさせられた。 c. 神が人に統治権を与えた目的は、神の敵サタンを征服し、地を回復し、地に神の王国をもたらすことです。 創 1:28 神は彼らを祝福された。そして神は彼らに言われた、「生めよ、また増えよ。そして地に満ちよ、そして地を従わせよ。そして海の魚と空の鳥と地上を動くすべての生き物を治めよ」。 <p>2. 神は肉体と成ることを通して人と成りました。神は人として生き、死んで、復活し、昇天しました。彼は今や御座の上の方として、なおも人です。<u>使徒 7:56</u> 彼は言った、「見よ、天が開けて、人の子が神の右に立っておられるのが見える」。</p>
<p>III. 主イエスは、彼の十字架、復活、昇天を通して御座にもたらされました:<u>使徒 2:36</u> こういうわけで、イスラエルの全家は、確かに知っておきなさい。あなたがたが十字架につけたこのイエスを、神は主またキリストとされたのです」。</p>	<p>C. 御座の上の人の外観には、二つの面があります。彼の腰から上の部分は、こはく金のように見えます。彼の腰から下の部分は、火のように見えます: <u>エゼキエル 1:27</u> 私はその方の腰のように見えるところから上に、こはく金のようなものを見た。火のように見えるものが周り全体を包んでいた。また彼の腰のように見えるところから下に、火の外観のようなものを見た。彼の周り全体には輝きがあった。</p> <p>A. 神は常に主であったのですが、今や人が主として御座の上にあります。<u>啓 4:2</u> 直ちに、私は霊の中へいた。すると見よ、御座が天に据えられていて、その御座に座している方がおられた。<u>3</u> 座している方は、碧玉や赤めのうのようであり、また御座の周囲には、緑玉のように見える虹があった。</p> <p>B. 主イエスが十字架につけられ、葬られた後、神は彼を復活させ、彼を神の右に座らせ、彼を全宇宙の主としました:<u>ピリピ 2:9</u> それゆえに、神もまた、彼を高く引き上げ、そして、あらゆる名にまさる名を彼に与えられました。</p> <p>C. 主イエスは開拓者、また先駆者として、御座への道を切り開き、御座へと先導しました: <u>ヘブル 2:10</u> 万物がその方のために存在し、万物がその方を通して存在する方が、多くの子たちを栄光へ導き入れるのに、彼らの救いの創始者を、苦難を通して成就されるのは、彼にふさわしいことでした。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 腰から上の部分は、彼の性質と個性を表徴しています。彼の性質と個性によれば、御座の上の方は、こはく金のように見えます。 2. 腰から下の部分は、行動のためです。腰から下の部分にある火の外観は、主の行動における外観を表徴します。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 主は神として、常に主でしたが、人として、彼の復活において彼の人性を神の中へともたらした後に、彼の昇天において主とされました。彼は彼の昇天において、万民の主とされて、すべてを所有しました。 2. 神が高く上げたイエスは、すなわち、地上の諸王の支配者は、すべての権力者に対する支配者です。彼は、神聖な行政の最高の支配者であり、神の永遠のご計画を成就します。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 彼は人と成り、人として御座へと行きました。<u>啓 3:21</u> 勝利を得る者を、私と共に私の座に着かせよう。それは、私が勝利を得て、私の父と共に彼の御座に着いたのと同じである。 2. このことが示しているのは、彼だけが御座に定められた人ではないということです。そうではなく、彼は私たちが従って行くための道を切り開きました。 3. 神の意図は、私たちが栄光の中へともたらし、私たちが御座に着かせることです。 <u>啓 22:5</u> 夜はもはやない。彼らにはともし火の光も太陽の光も必要がない。主なる神が彼らを照らすからである。そして彼らは永遠にわたって王として支配する。

<p>IV. 神の意図は、人の上で働いて、人が御座の上にいることができるようにすることです： 詩84 死ぬべき人は何者なので、あなたは彼を覚えられ、また人の子は何者なので、あなたは彼を訪れられるのですか？ 5 あなたは彼を、御曳たちより少し低いものとし、彼に栄光と誉れを冠として与えられました。 6 そして、あなたは彼あなた様の御手のわざを治めさせ、万物を彼の足の下に置かれました</p>	<p>A. 神の思いは人にあります。彼は人が彼を表現し、彼の権威を行使することを願っています。</p>		
	<p>B. 神は、人を通してご自身を現し、人を通して支配することを願っています。</p>		
	<p>C. 神の目標は、私たちが御座にもたらずことです。彼の願いは、私たちが御座の人々にすることです：</p>	<p>1. 神は、私たちが御座の上になるように、満足することはありません。彼は、私たちが御座にもたらされるまで、完全な栄光を得ることができません。</p> <p>2. 神の王国は、私たちが御座の上になるように、完全に来ることはできません。</p> <p>3. 神の敵は、私たちが御座の上になるように、征服されることはないでしょう。</p>	
	<p>D. 神は、神の御座に敵対するサタンを逆のゆえに、私たちが御座にもたらずことを願っています：</p>	<p>1. 神が宇宙において直面している最大の困難とは、彼の御座が反逆する勢力によって反対され、攻撃されてきたということです。</p> <p>2. サタンは、神の御座に敵対して反逆することにおいて、自分の座を高く上げ、それによって、神の権威を侵そうとしました。</p> <p>3. サタンの反逆の時から今に至るまで、権威に関して争いがあります。今日、地上で起こっている多くの事は、サタンが神の御座に対して抵抗していることの現れです。</p> <p>4. 神の意図は、サタンを投げ落とし、サタンによってとりにこられていた多くの者たちを贖い、彼らを神の御座にもたらずことです。</p> <p>5. 神によって得られた人々が必要です。それは、神の権威が彼らを通して行使され、神の王国が地上に来ることができるためです。</p> <p>6. 私たちは、支配すること(神のために権威を行使すること)と、神のために支配するという祝福を享受することを願うべきです。</p>	
	<p>E. 勝利者はキリストの共同の王として、キリストと共に御座の上になるようになります：</p>	<p>1. キリストは御座の上におり、彼らも御座の上になるようになります。</p> <p>2. キリストはいつかの権威を持っており、勝利者はこの権威にあずかり、諸国民を治めます。 啓 2:26 勝利を得る者、私のわざを最後まで保つ者には、諸国民を治める権威を与える。</p>	
<p>V. 私たちは、御座にもたらされるために、イエスの人性和その美徳を経験し、命の中で王として支配する必要があります： エペソ 4:1 こういうわけで、主の中の囚人である私は、あなたがたに懇願します。召されたあなたがたは、その召しにふさわしく歩きなさい。</p>	<p>A. もし私たちが正常な人性の美徳を持ちたいなら、イエスの人性を必要とします：</p>	<p>1. 私たちは信者として、キリストを彼の人性のすべての美徳と共に私たちに住ませ、私たちの人性とします：</p> <p>2. 私たちは、キリストを穀物のささげ物として食べて、キリストの複製となり、神・人の生活をする必要があります。</p>	<p>a. 私たちの日ごとの歩みのあらゆる面は、私たちの霊の中にある主の人性に同形化されるべきです。</p> <p>b. 私たちは、主の支配の下に生き、キリストの人性を経験するとき、決して均衡が失われるとはありません。むしろ、あらゆるものは適切に均衡を保つようになります。</p>
	<p>B. 神の全体的な救いは、私たちが、あふれるばかりの恵みとあふれるばかりの義の賜物によって、命の中で王として支配するためです： ローマ 5:17 もし一人の違犯によって、死が一人を通して王として支配したなら、あふれるばかりの恵みとあふれるばかりの義の賜物を受ける者たちは、さらにいっそう一人の方、イエス・キリストを通して、命の中で王として支配します。</p>	<p>1. 私たちは、神聖な、霊的な、天的な、王の、王なる命をもって再生されました。私たちが、この命によって王として支配することができます。</p>	<p>a. キリストは、命の中で王として支配することの模範です。彼は御父の神聖な命の支配の下にいました。マタイ 8:9 というのは、私も権威の下にある者ですが、私の下にも兵卒たちがいて、そこで、私がこの者に『行け』と言えば、彼は行き、あの者に『来い』と言えば、彼は来ますし、私の奴隷に『これをせよ』と言えば、彼はそれを行なうのです」。</p> <p>b. 私たちは、神聖な命の支配の下にいるとき、王として御座に着いて、すべてのものを王として支配しているという感覚を持ちます。</p>
		<p>2. 実行において、命の中で王として支配することは、神聖な命の支配の下にすることです：</p>	<p>3. 命の中で王として支配することは、サタン、この世、罪、肉、自己、あらゆる種類の不服従、すべての境遇に対して勝利し、それらを征服し、支配することです。ローマ 8:35 だれが私たちがキリストの愛から引き離すのですか？ 患難ですか、苦悩ですか、迫害ですか、飢えですか、裸ですか、危険ですか、剣ですか？³⁷ しかし、これらすべての事柄において、私たちが愛して下さった方を通して、私たちが勝ち得て余りがあります。</p>
		<p>4. もし私たちが命の中で王として支配したいなら、常にあふれるばかりの恵み、神に対する満ち満ちた享受を受ける必要があります： ローマ 5:21 それは、罪が死の中で王として支配したように、恵みもまた義を通して王として支配し、私たちの主イエス・キリストを通して永遠の命に至るためです。</p>	<p>a. 私たちは何度も何度も、神聖な源に来て、私たちの存在の深みから自分自身を開き、恵みとしての神をもって満たされる必要があります。</p> <p>b. 私たちはあふれるばかりの恵みを受ければ受けるほど、ますます命の中で王として支配します。</p>

経験:

①神のエコノミーは、私たちが良い人にするのではなく、神人にするのである:

神のエコノミーまた計画は、彼ご自身を人と成らせ、また私たちを、すなわち彼が創造した人を神とならせることです。このように、彼は「人化(ひとか)」され、私たちは「神化(かみか)」されます。最終的に、彼と私たち、私たちと彼はみな神・人となります。ですから、私たちが善良な人や、霊的な人や、聖(きよ)い人であるだけでは十分ではありません。これらは神が求めておられるものではありません。今日、神が欲しておられるのは神・人です。神は私たちが自分自身を改善させるのを期待しておられません。なぜなら、神は私たちが良い人となるのを求めておられないからです。彼は私たちに神・人になってもらいたいのです。彼が私たちの命またすべてであるのは、私たちが彼を表現し、彼を生かし出すためです。

ビジネス・ライフ編:

人は子供の時代までは善悪、文化、道徳の規準に従って育てられる必要があります。しかし大人になると、クリスチャンは善悪、文化、道徳の規準に従ってではなく、霊によって歩み、神・人となるべきです。このような歩みは、善悪、文化の歩みをはるかに超越しています。

ガラテヤ 5:16 しかし私は言います。霊によって歩きなさい。

あなたは絶えず自分の霊を活用し、良心を対処し、霊に従って歩くことを訓練してください。日本人は「お人好し」になりがちで、なかなか本音を言い出せません。外面的な衝突を避けることに集中して、本音が言えなくなります。例えばある会社の新人社員は、勤勉に仕事はするのですが、あまりにも詳細に注意を払い過ぎるので、効率が極めて悪く、残業ばかりするようになりました。このような場合、上司や先輩は業務のオーバービューを把握し、重要でない詳細については無視して(必要があれば後で検討する)、業務を前に効率よく進めることを指導すべきです。しかし、多くの場合、この新人社員は一生懸命しているので、そのような本音を伝えるにいと感じます。この新人社員のことを親身になって考えると、彼の成長のためにあなたは本音を伝え、次のように指導してください。「会社では、詳細から業務に入るのではなく、オーバービューを持って業務を遂行してください。そうすることで、あなたは成長し、業務の効率を著しく改善できます。また、あなたの長所である勤勉さは大切なことなので、それは否定していませんし、今後もそれを持ち続けてください」。あなたはこのことを言うときに、あまり深刻になりすぎないように注意してください。むしろ明るい雰囲気の中で言ってください。そうすれば、その新人社員はあなたの指導に心から感謝するでしょう。実は神・人の歩みは、美德と光に満ちているので、人を引き付け、あらゆる暗闇の活動やあらゆるアンバランスな活動は追い出すことができます。あなたが職場でも自分の霊を活用し、その霊に従って歩めば、あなたはイエスの卓越した人性を表現し、光の中で歩む人となり、卓越した人材になるでしょう。

②神の願いは私たちが御座の上の人々とすることである:

啓示録第3章21節で主イエスは言っています、「勝利を得る者を、私と共に私の座に着かせよう。それは、私が勝利を得て、私の父と共に彼の御座に着いたのと同じである」。…神の意図は、私たちが御座へ連れて行くことです。彼の願いは、私たちが御座の人々とすることです。神の王国は、私たちが御座の上になるようになるまで、完全に来ることはできません。さらに、神の敵は、私たちが御座の上になるようになるまで、征服されることはないでしょう。ですから、神の目標は、単に私たちが地獄から救い出すことだけでなく、私たちが御座にもたやすことです。

結婚生活編:

神の救いは、あなたを火の池の滅びから救い、神の命を享受する教会生活にもたらしめます。あなたは救われた日に、滅びから救われました。ハレルヤ！主の救いに感謝します。しかし、それは救いの目的ではありません。あなたは救われたその日から命の中で徐々に成長していくのです。このような原則はあなたの結婚についても同じです。結婚式のその日は素晴らしい日です。しかしその日からあなたは労苦して健康な結婚生活を建て上げる必要があります。主の導きの下であなたは配偶者と知り合い、互いに愛し合うようになり、結婚に至りました。しかし、結婚式は結婚のゴールではありません。健康な結婚生活を建て上げなければ、結婚生活には多くの問題があるようになり、互いの愛は冷え切ってしまう、ついには家庭内離婚に至ってしまうこともあります。しかし、クリスチャンであるあなたには、キリストの強い愛、勝ち得て余りがある愛があるので、この問題に打ち勝つことができます。ローマ 8:35 だれが私たちがキリストの愛から引き離すのですか？ 患難ですか、苦悩ですか、迫害ですか、飢えですか、裸ですか、危険ですか、剣ですか？ 37 しかし、これらすべての事柄において、私たちが愛して下さった方を通して、私たちは勝ち得て余りがあります。

この愛によって、夫婦の間のあらゆる困難を乗り越えて配偶者を愛し続けてください。結婚式の時、新婚の時だけでなく、配偶者を愛し続けることは困難なことです。非常に尊いことです。神はあなたが健康な結婚生活を建て上げることをサポートしています。また、神は最終的にあなたを御座の上にいる人にします。御座の上にいる人は、主の中ですべての人、すべての事を支配します。あなたは結婚生活における性格の不一致、育った生活環境の違いからくる不和などを支配し、互いに愛し続けることができます。

③穀物のささげ物で予表されるイエスの卓越した人性を食べ、正常な日常生活を持つ:

私たちはサタンを辱めるために、すべての人性の美德を必要とします。…もし主の人性が私たちが行なっていることに同意しないなら、私たちは言わなければなりません、「主よ、私は決してこの事柄で私の内側にあるあなたの人性に逆らいません。私はただそれを放棄します」。もし私たちがこのようにするなら、私たちはみなイエスの人性の中で正常な日常生活を持つでしょう。そうすれば、私たちは正常

な召会生活を持ち、この召会生活が今日の地上での神の王国となるでしょう。このことはサタンにとって真の恥となり、また神にとって真の誇りとなります。

神が地上の若い世代の間で王国を得るために、贖われ再生されてイエスの人性を取る一群れの人々が必要です。この人性によって、彼らはすべての事において均衡をとります。例えば、つい最近までネクタイはとても幅が細かったのですが、今日ネクタイは今までよりも幅広くなりました。ネクタイは大きな扇子のようです。あなたはそれがかなり極端であると思いませんか？ もちろん、外側の矯正は決してうまくいきませんが、私たちがイエスの人性を取るなら、それほど極端にならないと私は思います。…私たちは神の天的な支配の下にいななければなりません。

私たちは穀物のささげ物が、おもに私たちのためであることを認識しなければなりません。記念としての一握りだけが神のためです。残りのすべて、大部分は祭司のためです。「その穀物のささげ物の残りは、アロンとその子たちのものである」(レビ 2:3)。これは祭司の食事です。祭司たちは、日ごとに穀物のささげ物であるキリストを食べるのです。私たちは祭司です。ですから、私たちは自分の祭司の食事のために、穀物のささげ物であるキリストを食べなければなりません。

キャンパス・ライフ編:

あなたはキャンパス・ライフにおいて、イエスの人性を享受し、表現することを学んでください。あなたが注意深く同級生などの周りの状況を観察すると、多くの習慣や行動はバランスがとれておらず、誉れのある状況ではありません。例えば研究で徹夜したり、徹夜で飲み会に行ったりします。このような行動は実は研究の効率を極端に悪化させます。徹夜して研究しても、疲れ果てており、良いアイデアは浮かばないからです。また、徹夜で飲み会に行くと放蕩につながり、放蕩は姦淫などの罪にもたらす可能性があります。しかし、彼らはこれらの習慣や行動を変えようとしただけでなく、参加しない者を責めます。このようにして育った卒業生は会社に行って残業ばかりするようになります。日本の労働者は先進国の中では毎年労働効率が最悪です。しかし日本人はその事実をほとんど知りません。学生時代から、イエスのバランスのとれた人性を享受し、表現することを学べば、あなたは何が本質的に正しいかを判別する能力を持つようになります。そして間違った固定観念から救われ、重要な点を把握したうえで効率よく業務をすることができるようになるでしょう。そうすれば、あなたは将来、特に日本では、卓越した社員になるでしょう。

④職場でも、学校でも、車の中でも、主に開き続け、恵みとしての彼で満たされる:

役立つ唯一の事は、神聖な源に来て、私たちの深みから自分自身を開き、恵みとしての神をもって満たされることです。満たされるためには、すべての絶縁体と妨げを取り除いてくださるよう主に求めなければなりません。私たちは祈る必要があります。「主よ、私はあらゆる妨げが取り除かれることを心から求めます。私はあなたに直接、開き続けていきたいです。主よ、恵みとしてのご自身で私を完全に満たしてください」。あなたがどこにいても、職場でも、学校でも、車の中でも、

主に開き続け、恵みとしての彼で満たされなさい。これが、あふれるばかりの恵みを受けることの意味です。このようにして恵みを受ける時、あなたは恵みで満たされ、最終的に、恵みがあなたの内側からあふれ出るでしょう。その時、あなたは恵みによって、罪、死、サタンを命の中で支配するでしょう。

中高生編:

あなたは中高生の時から、心の底から主に開き、主と本音で交わることを経験してください。例えばあなたは担任の先生やあるクラスメイトがとても苦手で好きになれません。あなたは主が世人を愛しているの、このことで正直に主と交われないので本音は伝えず、表面的に祈ります。しかしこのような祈りは宗教的な祈りであり、主は喜ばれません。主は祈りの中で、あなたの度量を広げることができます。重要なことはあなたが心を開くことです。あなたはこのように祈ってください、「主イエスよ、私はこの先生やクラスメイトを愛することができません。その理由は…です。しかし、私はあなたに来るとき、心をあなたに開きます。私は間違っているかもしれませんが、自分が感じるままに、親友に語るように、なんでも自由にあなたに語ります。あなたご自身とあなたの愛で私を満たしてください。アーメン」。このような祈りは以前の宗教的で形式的な祈りとは大きな違いを生み出します。

神大 BSG サークルが、新入生歓迎祭に出展:

神戸大新入生歓迎祭(新歓祭)における BSG サークルが祝福されるように祈ってください。詩歌を歌ったり、聖書の真理を説明したりします。在職者の OB・OG は有給休暇を取って参加する予定です。

日時:4月2日(主日)~3日(月曜)

場所:神大国際文化のグラウンド

神戸大学新歓祭に関する証し:

神大 BSG サークルは、今年4月に行われる新入生歓迎祭への出展申請をしました。その後、新歓イベント委員長から、BSG は宗教団体・カルト集団ではないかと疑われ、出展を断られました。私はしょうがないなと思いましたが、張姉妹(神大博士1回生)は、怒って直ちに次のように抗議しました。「私たちは聖書を学習するためサークルであり、宗教団体、カルト集団とは、一切関係ありません。聖書研究会は、全世界の一流大学にはどこにでもあります。(神戸大学は三流大学ですか?)」と抗議したところ、かえって彼が私たちを拒否することを恐れて、出展の許可が下りました。霊的な戦いの中で私は、「獅子の顔」を持ち、サタンに対して恐れるのではなく、勇敢に立ち向かうべきであることを、張姉妹から学びました。小心な人は決して主に用いられません。アーメン!(神大3回生)